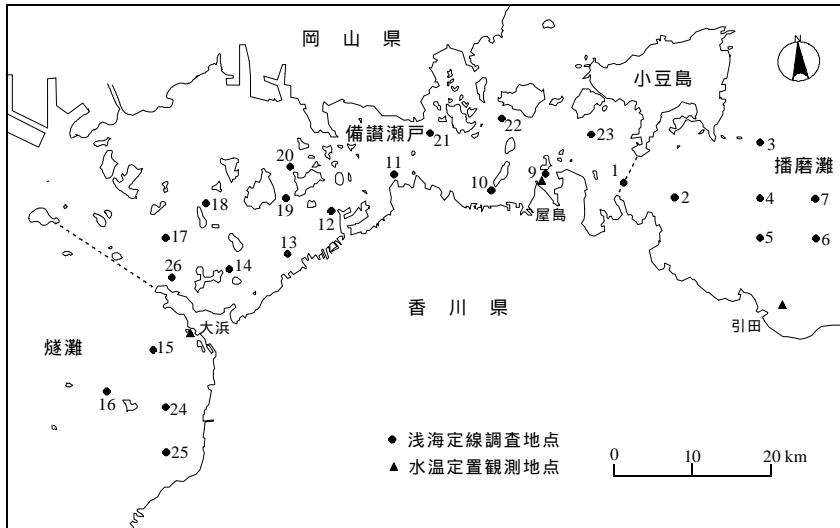


香川県漁海況速報 平成17年 4月 (H17- 1号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 17 年 4 月 6 日 (播磨灘), 5 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「平年並み」、塩分は「かなり低めからやや低め」、透明度は「やや低めからかなり高め」、溶存酸素は「やや低めからやや高め」であった。

		水温 (°C)			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	10.7	10.1	10.0	31.5	31.5	31.6	7.3	6.68	6.18
	平年値	10.5	10.1	9.8	32.4	32.5	32.6	8.6	6.45	6.17
	平年偏差	0.2	0.0	0.2	-1.0	-1.0	-1.0	-1.3	0.23	0.01
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	かなり低め	かなり低め	かなり低め	やや低め	やや高め	平年並み
備讃瀬戸	14地点平均値	10.5	10.4	10.4	31.9	31.9	31.9	5.9	6.10	6.14
	平年値	10.6	10.5	10.5	32.6	32.7	32.7	5.6	6.21	6.18
	平年偏差	-0.1	0.0	-0.1	-0.7	-0.8	-0.7	0.3	-0.11	-0.04
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	かなり低め	かなり低め	平年並み	平年並み	平年並み
燧灘	4地点平均値	11.7	10.9	10.4	32.3	32.4	32.5	11.2	6.09	5.76
	平年値	11.7	10.7	10.5	32.9	33.1	33.1	8.4	6.29	5.94
	平年偏差	0.0	0.2	-0.1	-0.6	-0.7	-0.7	2.8	-0.20	-0.18
	状況	平年並み	平年並み	平年並み	やや低め	かなり低め	かなり低め	かなり高め	やや低め	平年並み

平年偏差 = 平均値 - 平年値

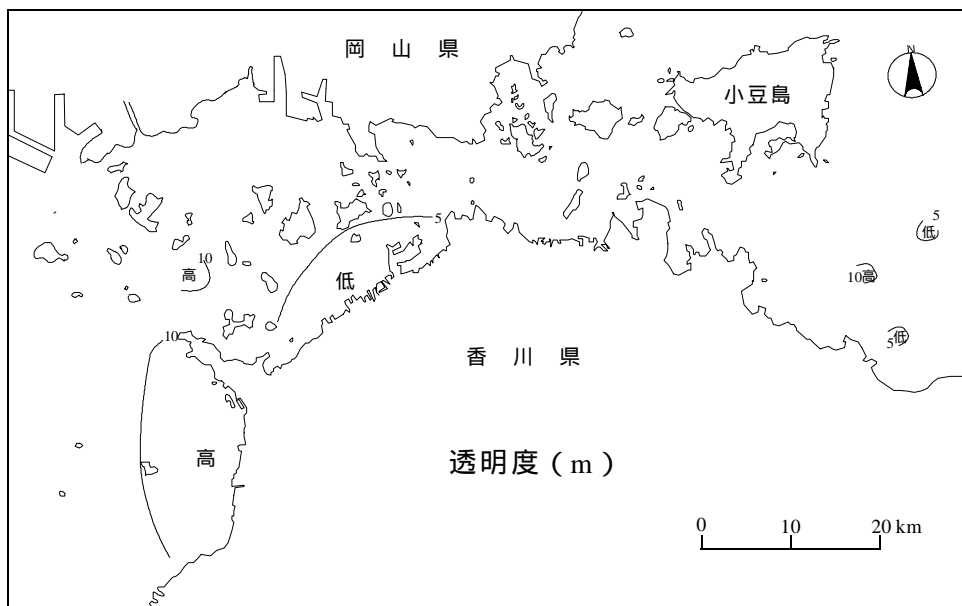
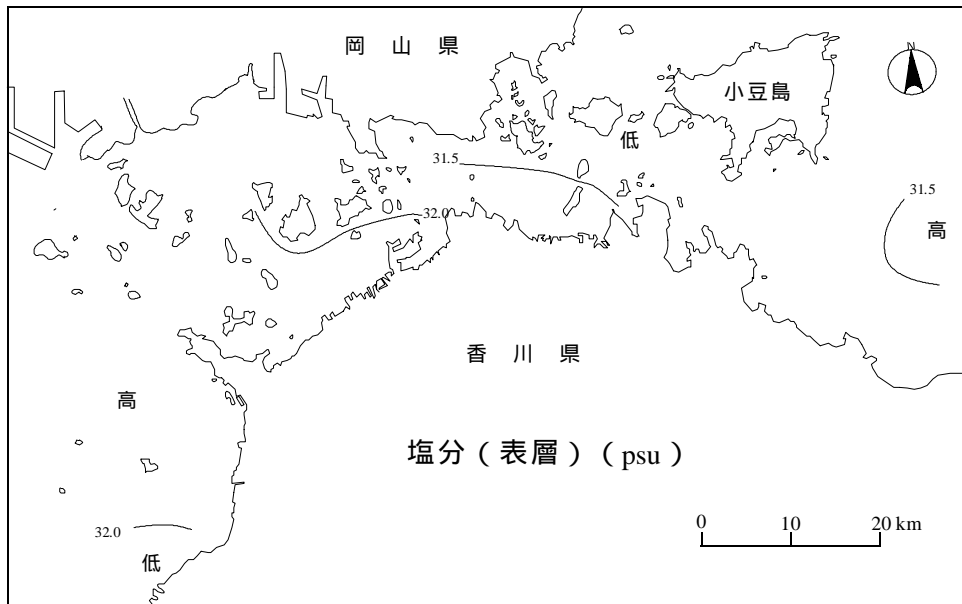
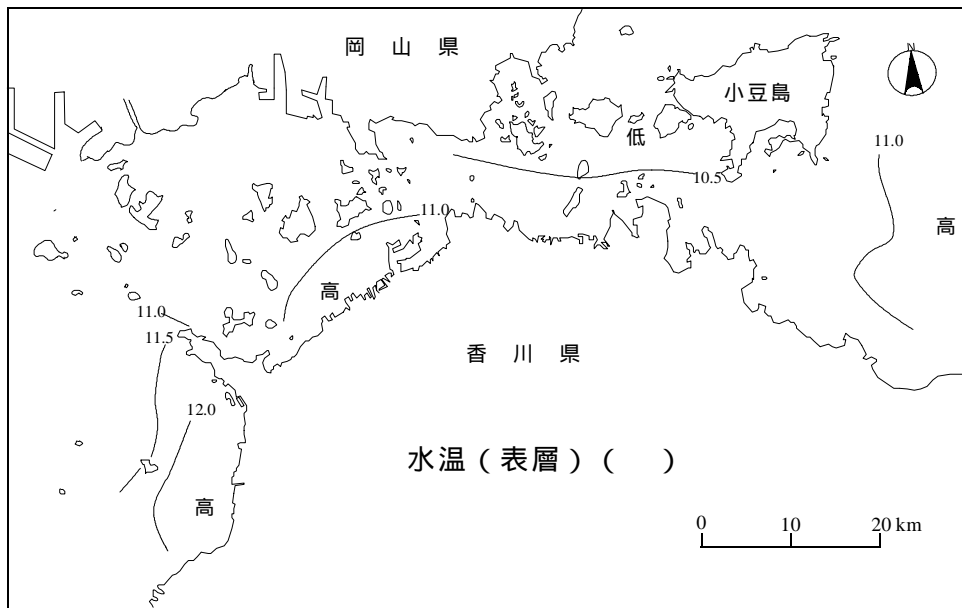
平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和 48 年 (1973) 1 月 ~ 平成 13 年 (2002) 12 月

溶存酸素: 昭和 48 年 (1973) 2 月 ~ 平成 13 年 (2002) 12 月

水温は, 毎月 1 日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め (やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め (かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め (著しく低め)	2.0	平年偏差	



2) 定量観測(水温)

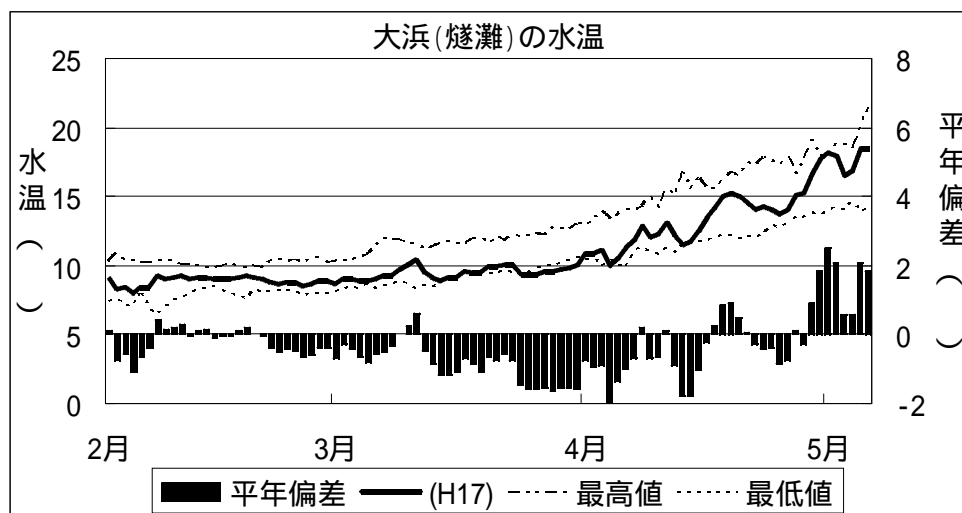
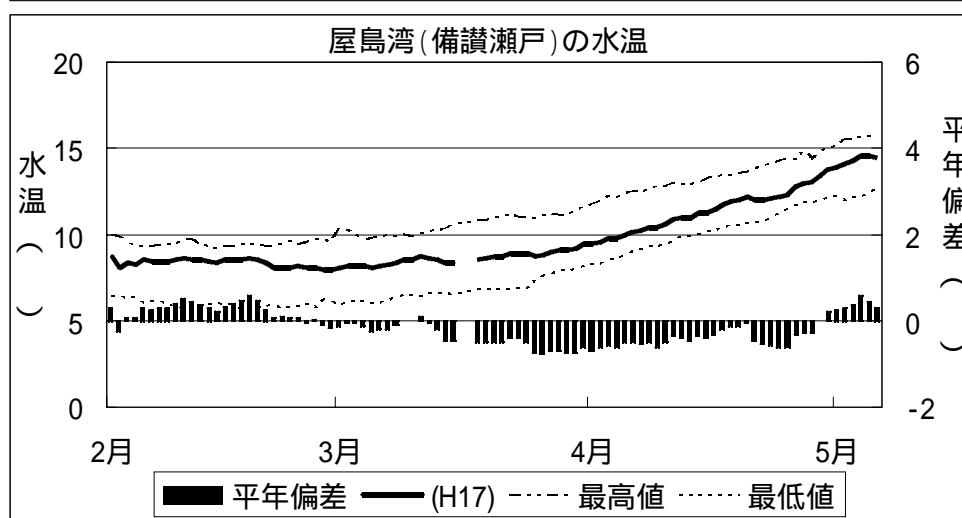
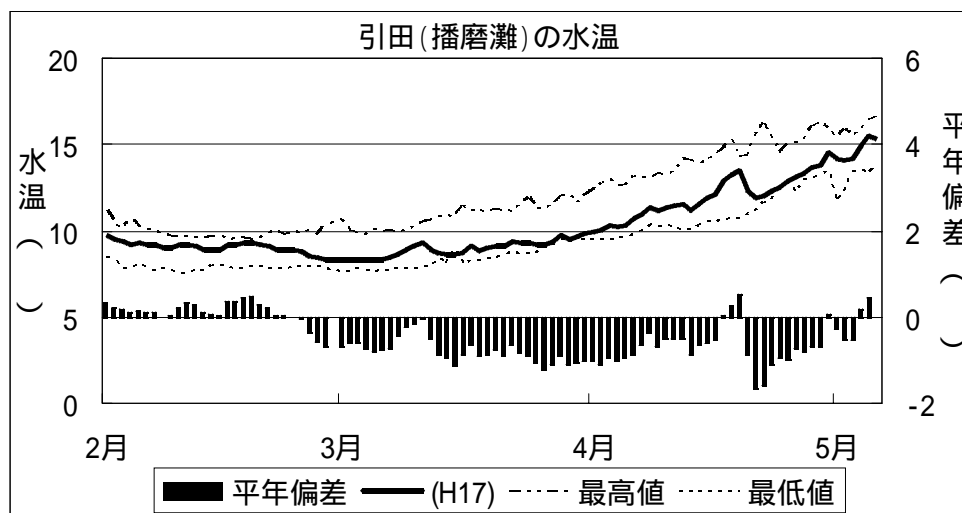
播磨灘(引田): 3月上旬から平年偏差が - 1 前後で推移していた。4月中旬に 0.5 から - 1.7 まで大きく変動した後、5月に入り平年値前後で推移している。

備讃瀬戸(屋島): 3月上旬平年値前後、下旬から4月上旬は平年偏差が - 0.7 前後で推移していた。4月末から平年値を上回り推移している。

燧灘(大浜): 3月上旬は平年値前後、中旬から4月上旬は平年偏差が - 1 前後で推移した。中旬平年値前後で大きく変動し、4月末から上昇し1 前後で推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)~平成14(2002)年

屋島: 昭和50(1975)~平成14(2002)年



3) 赤潮

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：4月下旬，坂出港内で *Noctiluca scintillans* の赤潮の発生があった。

燧灘：4月中旬，南東部で *Noctiluca scintillans* の赤潮の発生があった。

4) 卵稚仔

調査日：平成17年4月6日（播磨灘），5日（備讃瀬戸，燧灘）

出現量

個（尾）/曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
備讃瀬戸平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	-	-	-	-
備讃瀬戸平均	-	-	-	-
燧灘平均	-	-	-	-
総平均	-	-	-	-

-：平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成16（2004）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成16（2004）年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現量はなかった。

2. 漁況

3月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網は主にウシノシタ類，アカガイ，シャコが漁獲されているが，全般的に低調でクラゲが多い。</p> <p>ます網ではスズキ，マダイ，ウマヅラハギ，クロダイが漁獲され始めたが，前年に比べて漁獲量は少ない。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類，メイタガレイ，イイダコが漁獲されている。</p> <p>中讃・高松沖のタイラギ潜水器漁業は4月20日で漁期を終了した。漁獲量は前年を上回ったが，金額は魚価が安かったため下回った。</p> <p>高松・庵治沖のイカナゴ込網の3月中旬以降から始まったシンコ漁は前年を大きく上回り豊漁が続いている。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主にウシノシタ類，メイタガレイ，フグ類が漁獲されている。</p> <p>ます網は3月15日から漁期が始まり，主にウマヅラハギ，マダイ，スズキ，ヒラメ，クロダイが漁獲されているが，全般的に低調で特にウマヅラハギが少ない。</p> <p>さより機船船びき網は4月11日から漁期が始まり，漁期当初の漁獲量は60 kg/日・隻前後と前年を大きく下回っている。</p>